

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策05 上下水道の整備	概ね適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【施策の課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○安定給水の確保 ○より安全で良質な水の確保 ○大雨にも強い都市づくりを進め、安全な生活を確保する ○合流式下水道の改善を進め、環境負荷の軽減を図る ○増加する水量に対応するための施設増強を進めるとともに、老朽化した下水道施設の改築・更新を進め、適正な放流水質を確保する 	<p>「増加する水量に対応するための施設増強を進める」とあるが、現在では江別市の人口が減少しているという社会変化にも関わらず、「増加する水量」というのは整合性が取れないのではないか。</p>	<p>次年度記載の際に表現の修正をする。</p>
<p>【施策の環境変化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民ニーズの多様化・複雑化 ○生活環境改善のナショナルミニマムからシビルミニマムへの変化 ○環境問題への関心の高まり ○循環型社会への転換 ○普及重視からニーズに対応した施策の展開 ○施設の建設から維持管理へ 	<p>「ナショナルミニマム」や「シビルミニマム」とあるが、一般的にわかりにくいので補足等必要ではないか。</p>	<p>ここでの「ナショナルミニマム」とは、全国レベルでの標準を求める姿勢を表しており、「シビルミニマム」とは、江別という地域性を考えた上での取り組みの姿勢を表している。たしかにわかりにくい部分があるので、表現を工夫する。</p>
<p>【対象】</p> <p>市民、公共水域</p>	<p>対象を記載する際のフォーマットが「対象（誰を対象とした指標か）」となっている。そのことからするとこの対象として設定されているものが「市民、公共水域」となっていることに違和感を覚える。フォーマットを「対象（誰を・何を対象とした指標か）」とできないのか。できないのであれば「市民」と「公共水域」が並列に並んでいるために誤解を招いているので改行して1行ずらすなど、何らかの工夫をしてはどうか。</p>	<p>区別しやすいように事務局と協議しつつ何らかの工夫をする。</p>

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【全体】</p>	<p>施策・基本事業を通して全般的に水道水に対する形容詞として「安全な」や「良質な」・「安心な」という言葉が使われているが、安心して飲めるという意味で「良質」を証明するような説明文等を織り込んでいただきたい。</p>	<p>要望があるのであれば、検討のうえで成果指標等に追加することは可能である。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【成果指標】 日常的に水道水を飲み水として利用している市民割合 汚水・雨水等が適正に処理され、衛生的で安全な生活環境が確保されていると思う市民の割合</p>	<p>対象が市民と公共水域の2つあるにも関わらず、成果指標2つともが市民を対象とした指標なので、例えば達成状況にあるような「苦情件数」のような公共水域に関係する成果指標が必要ではないか。</p>

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策05 上下水道の整備 基本事業01 安全で良質な水道水の安定供給	適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
	【指摘等なし】	

担当部署の評価内容	委員の意見
【意見・提言】	「江別市の水道水がおいしい」ということを今まで以上にPRしていかないといけない時期に来ているのではないかと。飲み水はペットボトル水だけで、水道水は飲まないという習慣が子どもたちに根付いてしまうことは大変に問題である。大学と連携しているのだから、繋がりを十分に活かすことも検討してみてほしい。

江別市行政評価外部評価委員会による評価結果

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策05 上下水道の整備 基本事業02 汚水・雨水排除の推進	適切

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
	【指摘等なし】	

担当部署の評価内容	委員の意見
【意見・提言】	市民としては江別市に住んで良かったと思いたい。その中で汚泥の100%を農地に還元しているという取り組みが行われているのであれば達成状況等に記載したほうがよい。